

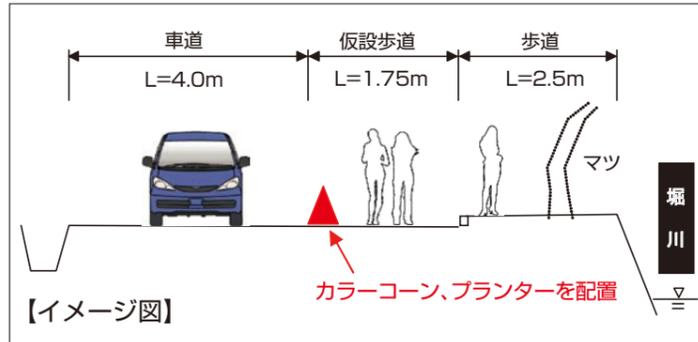
松江開府400年記念博覧会に伴う交通規制について

松江市では平成23年3月19日に松江歴史館を開館し、今年の12月4日までの期間、『松江開府400年記念博覧会』を開催いたします。松江城付近では多数の来場者が見込まれており、車の通行や、歩行者の往来についても増加することが予想されます。この博覧会の期間中、円滑な車両通行及び歩行者の安全を図るため、惣門橋通り(市道北田大手前線)の交通規制を行います。

- ・規制期間 3月21日(月祝)～12月4日(日)の**土日祝日** 及び
4月29日(金祝)～5月5日(木祝)(**ゴールデンウィーク期間**)
- ・規制時間 9:00～17:00(3月21日～3月31日)
9:00～18:30(4月1日～9月30日)
9:00～17:00(10月1日～12月4日)
- ・規制内容 北進一方通行(軽車両は除く)



※なお、4月29日～12月4日の土日祝日は、規制区内の一部車道幅を4mに減少し、歩行空間として利用します。

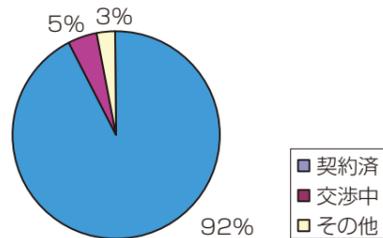


※惣門橋通りは平成23年4月1日から大型車両の通行が出来なくなります。(路線バスを除く)

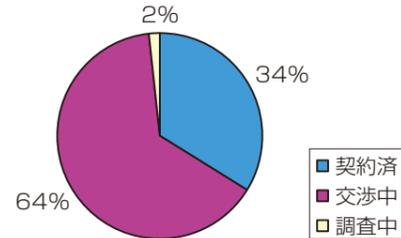
都市計画道路城山北公園線(大手前通り)拡幅事業に関する用地契約状況についてお知らせします。



【第1工区契約状況】



【第2工区契約状況】



平成23年1月31日現在 島根県より

大手前通り まちづくりだより 第25号

大手前通り周辺地区の整備状況について

松江市では、城山北公園線拡幅事業にあわせて、大手前通り周辺の市道を安全で快適に歩けるように、改良工事等を進めています。現在の事業進捗状況及び今後の予定についてお知らせいたします。



平成23年2月11日に文化財調査現地説明会が開催されました！

城山北公園線（大手前通り）の道路拡幅工事にあわせて、今年度も引き続き文化財の調査を行っています。この度第2工区の南田町内の店舗跡地にて、一般向けの発掘調査現地説明会が開催されました。今回はその内容についてお知らせいたします。

日時：平成23年2月11日(金)13:30～
 場所：松江市南田町 店舗跡地
 主催：松江市教育委員会
 財団法人松江市教育文化振興事業団



今回の調査地には、以前大きな店舗が建っており、遺跡は残っていないというのが大方の意見でしたが、調査を進めると、地下には非常に良好な状態で城下町遺跡が残っていることがわかりました。当地は、江戸時代に松江藩の筆頭家老であった大橋茂右衛門の屋敷地であり、調査により家来である与力衆の居住空間が発見され、建物跡と共にたくさんの遺物も見つかりました。



出土したもの(遺物)



左の写真は建物跡と共に見つかった遺物です。遺物は、『相撲を取る猿』『三猿』『七福神』の土人形といったものや、『碁石』などの遊具・玩具があります。また、キセルが20本、「寛永通寶」などの通貨56枚も床下跡から出土しています。非常に珍しいことに、その通貨の一枚には文字の横4ヶ所に穴が開けられていました。これは、お守りなどで身に付けるために開けられたものと思われます。

各遺構面の詳細一覧表(調査2区)

現況高：標高1.5m

遺構面	標高 (cm)	詳細	備考
第1遺構面	90~85	土坑(穴)	大部分が近現代建物によりかく乱されている
第2遺構面	80	礎石建物	
盛り土		黒褐色土の盛り土(遺物包含層)	陶磁器、古銭、キセル等が出土 (17世紀中頃~後半)
第3遺構面	60	礎石建物	ごみ穴、屋敷境溝等も検出
第4遺構面	50~45	掘立柱建物	島石礎盤、杭列、ごみ穴等も検出
盛り土	45~0	青灰色シルトの盛り土	沖積地の堆積土
第5遺構面	0~-10	畑	何が作られていたのか分析中(17世紀初期頃)
	-10~	現在調査中	

第3遺構面 礎石建物跡



第4遺構面 掘立柱建物跡



第5遺構面 畑の畝跡



この遺跡からは、この周辺で初めて建物跡が検出されました。江戸時代中期に建てられた、礎石建物跡の第3遺構面、さらに前の時代の掘立柱建物跡の第4遺構面、江戸初期頃と思われる畑跡の第5遺構面と、その土地の変遷がうかがえる貴重な資料となりました。

引き続き、第5遺構面より深い場所の調査を実施し、松江城下町造成以前の地形を復元したいと考えています。今回の結果は、城下町の全容を知る大きな一歩になりそうです。